

## 2021年度第3回団体連絡会 議事次第

1. 日 時 2022年1月21日(金) 14:00~16:00

2. 開催形式 WEB形式(ZOOMを利用)

3. 議 題 (司会進行 事務局長 橋 豊)

(1) 挨拶

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 寺家 克昌

(2) 講演(質疑応答あり)

**第1部** 14:05~

次年度予算に関する住宅関連施策等について(資料: 団連 21-3-2 (P2~))

経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室 課長補佐 高橋 淳子 様

**第2部** 14:35~

令和3年度補正予算「こどもみらい住宅支援制度」について(資料: 団連 21-3-3 (P7~))

国土交通省 住宅局 住宅生産課 住宅ストック活用・リフォーム推進官 松本 潤朗 様

**第3部** 15:05~

フィジカルインターネット実現会議に向けた建材・住宅設備ワーキングの動向についての状況報告

(資料: 団連 21-3-4 (P73~))

一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会 専務理事 寺家 克昌

(3) 建産協からのお知らせ

・2022年度団体連絡会の開催予定(案)

第1回 2022年6月17日(金) 14:00~16:00

第2回 2022年9月16日(金) 14:00~16:00

第3回 2023年1月20日(金) 14:00~16:00

配布資料

- ◆ 団連 21-3-1 (P1) 2021年度第3回団体連絡会 議事次第
- ◆ 団連 21-3-2 (P2~6) 住宅関連施策等について
- ◆ 団連 21-3-3 (P7~72) 令和3年度補正予算「こどもみらい住宅支援制度」について
- ◆ 団連 21-3-4 (P73~98) フィジカルインターネット実現会議 建材・住宅設備WGについて
- ◆ 団連 21-3-5 (P99~100) 一般社団法人日本ウレタン断熱協会様からのお知らせ

以上

## 2021 年度第 3 回団体連絡会開催報告



2022 年 1 月 21 日(金)、2021 年度第 3 回団体連絡会が、48 名の WEB 参加により開催された。寺家克昌専務理事による主催者挨拶の後、経済産業省生活製品課 高橋淳子氏による「次年度予算に関する住宅関連施策等について」、国土交通省住宅生産課 松本潤朗氏による「令和 3 年度補正予算『こどもみらい住宅支援制度』について」、寺家克昌専務理事による「フィジカルインターネット実現会議 建材・住宅設備ワーキンググループの動向についての状況報告」と題する講演が行われた。

### ■ 講演 1：「次年度予算に関する住宅関連施策等について」\*

講師：経済産業省 製造産業局 生活製品課 住宅産業室  
課長補佐 高橋淳子氏

関係省庁(経済産業省・国土交通省・環境省)が連携して、住宅の省エネ・省 CO<sub>2</sub> 化に取り組み、2030 年目標(ZEH 水準の省エネルギー性能確保、新築戸建住宅の 6 割に太陽光発電設備設置)の実現を目指している。

○令和 3 年度次世代 ZEH+ 実証事業：住宅単体での再エネ等自家消費拡大に向け、既に取り組んでいる ZEH+ に加え、蓄電池・V2H 設備、燃料電池、太陽熱を活用するモデル(次世代 ZEH+)の実証を行っている。また、令和 3 年度より、建売戸建 ZEH や、第三者所有(Third-party Ownership：TPO)モデル活用型 ZEH についても支援している。令和 3 年度の公募は終了しているが、令和 4 年度も実施する予定である。

○次世代省エネ建材の実証支援事業：既存住宅において、省エネ改修の促進が期待される工期短縮可能な高性能断熱材や、快適性向上にも資する蓄熱・調湿建材等の次世代省エネ建材の導入を支援するものである。令和 3 年度事業では、住宅の改修方法を「外張り断熱工法等での改修(外張り断熱)」と「断熱パネル等での改修(内張り断熱)」の 2 区分から選択可能となっている。令和 3 年度の公募は終了しているが、令和 4 年度も実施する予定である。

その他、環境省の、

○集合住宅の省 CO<sub>2</sub> 化促進事業(経済産業省連携事業)(令和 4 年度予算(案)44.5 億円)

○戸建住宅ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス(ZEH)化支援事業(令和 4 年度予算(案)65.5 億円、令和 3 年度補正予算額 15 億円)

国土交通省の、

○こどもみらい住宅支援事業(令和 3 年度補正予算額 542 億円)

(※建産協ホームページ内の会員専用コーナーより関連資料がご覧いただけます。)

についても概要の紹介があった。

---

■ 講演 2 : 「令和 3 年度補正予算『こどもみらい住宅支援制度』について」※

(関連記事 P2 行政ニュース 1)

---

講師：国土交通省 住宅局 住宅生産課  
住宅ストック活用・リフォーム推進官 松本潤朗氏

『こどもみらい住宅支援制度』は、子育て支援及び 2050 年カーボンニュートラルの実現の観点から、子育て世帯または若者夫婦世帯による高い省エネ性能を有する新築住宅の取得や、住宅の省エネ改修等に対して補助することにより、子育て世帯または若者夫婦世帯の住宅取得に伴う負担軽減を図るとともに、省エネ性能を有する住宅ストックの形成を図ることを目的とし、一定の省エネ性能を有する住宅の新築（持家）、一定の要件を満たしたリフォームを対象とするものである。

補助対象事業のタイプは、(1)注文住宅の新築(子育て世帯または若者夫婦世帯が、新たに発注(工事請負契約)するもの)、(2)新築分譲住宅の購入(子育て世帯または若者夫婦世帯が購入(売買契約)する新築住宅)、(3)リフォーム(所有者等が工事を発注(工事請負契約)するリフォーム)である。

補助対象期間については、(1)注文住宅の新築、(2)新築分譲住宅の購入が、令和 3 年 11 月 26 日以降に工事請負契約を締結し、かつ別途定める事業者登録を行った後に建築工事に着手するもので、令和 4 年 10 月 31 日までに工事が一定以上の出来高に達した上で交付申請を行い、別途定める期間内に完了報告が可能なものに限る。(3)リフォームは、令和 3 年 11 月 26 日以降に工事請負契約を締結し、かつ別途定める事業者登録を行った後に建築工事に着手するもので、令和 4 年 10 月 31 日までに全ての工事が完了した上で交付申請が可能なものに限る。

対象住宅の性能要件等については、新築は、① ZEH、Nearly ZEH、ZEH Ready または ZEH Oriented、②高い省エネ性能等を有する住宅、③一定の省エネ性能を有する住宅、のいずれかに該当し、かつ住戸の延べ面積が 50㎡以上であること。リフォームは、①開口部の断熱改修、②外壁、屋根・天井または床の断熱改修、③エコ住宅設備の設置、④子育て対応改修、⑤バリアフリー改修、⑥空気清浄機能・換気機能付きエアコンの設置、⑦耐震改修、⑧リフォーム瑕疵保険等への加入、以上①～⑧のいずれかに該当することが必要で、①～③のいずれかは必須、④～⑧は任意となる。

(※建産協ホームページ内の会員専用コーナーより関連資料がご覧いただけます。)

---

### ■ 講演3：「フィジカルインターネット実現会議 建材・住宅設備ワーキンググループの動向についての状況報告」

---

講師：一般社団法人 日本建材・住宅設備産業協会  
専務理事 寺家克昌氏



寺家克昌専務理事

物流における需要と供給のバランスの崩壊により物流機能の維持が困難となり、企業や経済全体の成長制約となる事態を回避し、物流を産業競争力の源泉としていくためには、物流事業者のみならず、製造事業者や販売事業者が、物流を含めたサプライチェーンマネジメントや、企業・業界間での標準化・共同化等を行うことにより、オールジャパンで、物流の効率化を徹底していくことが重要である。このため、欧米等で注目を集めている、企業・業界の垣根を越えた輸送容器の規格化や物流データの共有などにより、効率的な共同輸配送を実現する考え方(フィジカルインターネット)を参考にしつつ、我が国においても、大規模・長期・計画的にこうした最先端の技術や概念を取り入れた物流システムを構築していくべく、経済産業省と国土交通省の共同で「フィジカルインターネット実現会議」を立ち上げ、2040年に向けたロードマップの策定に向けた議論を進めている。加えて、個々の業界においては、物流に関する固有の商慣習等の課題を抱えており、「フィジカルインターネット」を実現するためには、業界特有の状況も踏まえた業界ごとの具体的なアクションプランを策定することが必要である。

こうした背景により、フィジカルインターネット実現会議の分科会として業界ごとのワーキンググループを組成され、業界ごとの2030年までのアクションプランが、2021年度中に策定される予定である。建材・住宅設備業界についても、2021年12月に「建材・住宅設備WG」が設置され、建産協も参加し、建材・住宅設備のサプライチェーンにおけるアクションプランを、2021年度中に策定すべく、検討を進めている。第1回WGは2021年12月22日に開催され、以降月1回のペースで全4回程度開催される予定である。

---

#### 建産協からの報告・他

---

- ・2022年度 団体連絡会の開催スケジュール(予定)
  - 第1回 2022年 6月17日(金) 14:00～16:00
  - 第2回 2022年 9月16日(金) 14:00～16:00
  - 第3回 2023年 1月20日(金) 14:00～16:00